



オフィス系企業の立地の決定

神奈川県に本社を置く株式会社ハウコムが本市への立地を決定されました。本市では企業向けの「1号ポート・ヘルプデスク、コールセンター業務」を行い、約150人規模で来年3月の操業開始を計画されています。本市としては、人材確保など操業開始に向けた活動や円滑な操業に向け、引き続き県や県産業振興財団と連携して可能な限り支援していきます。いわゆるオフィス系企業の立地は、平成23年以来5年ぶりになりますが、これを契機に、現在好調に立地が続いている製造業と合わせて更なる企業の立地を目指し、強力に誘致活動に取り組んでいきます。

今後ともご支援ご協力をよろしくお願い致します。

中国廈門市・蘇州市・上海市でのトップセールス

7月12日から16日に中国廈門市、蘇州市、上海市において観光トップセールスを実施し、本市の友好都市である廈門市政府や観光交流分野で協力関係にある蘇州市政府を訪問しました。

観光トップセールスでは、佐世保港へのクルーズ客船の更なる誘致を図るため、香港実績のある船会社やクルーズ客船のチャーターを行う旅行会社などを訪問しました。訪問先では本年4月の熊本地震による本市への影響はなく、安心して佐世保へお立ち寄りいただけることを説明し、ご理解をいただきました。国際観光の活性化は、本市の成長戦略プロジェクトの柱の一つであり、今回の観光トップセールスを、今後の観光客誘致と地域活性化

へつなげていきたいと考えています。

中国瀋陽市との友好交流都市提携5周年記念事業の実施

中国瀋陽市との友好交流都市提携5周年記念事業として、瀋陽市の事業として、クルーズ客船「レジエント・オブ・ザ・シーズ」をチャーターし、7月18日、22日、28日に佐世保港へ寄港する市民旅行を開催されました。このクルーズ客船の乗船客に対して友好交流記念証を贈呈し、本市への訪問を歓迎しました。

また、本市からは訪問団を結成し、8月21日から24日に瀋陽市を訪問しました。今回の訪問団には、行政・議会関係者に加え、公募による20人の市民の方にも参加していただきました。瀋陽市では、歓迎記念行事が実施され、瀋陽市の皆さまと友好を深めることができました。今後も幅広い分野での交流

を続けることで、両市の絆を深めていきたいと思っております。

宇久地域への貨物フェリーの通航再開

5月12日から宇久平港への寄港を中止されていた貨物フェリー「マリノライナー」が宇久平港への寄港を再開するという連絡が、8月18日に運輸会社からありました。

本報告に関し、運輸会社には、通航再開という判断をしていただき、嬉しく思っています。また、寄港中止に伴い大変ご迷惑をお掛けしていました宇久地域の住民の皆さまやガソリン・プロパンガス元売り各社など生活関連事業者の皆さまには、限定的な物資運送について、ご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

さらに、臨時便として運輸にご協力いただいた貨物フェリー「つばさ」の運輸会社関係者の皆さまには、窮地の中、快く手を差し伸べていただき、本

当に感謝の言葉しか申し上げることができません。

ただ、通航の再開に一定の安堵をしながらも、運輸会社による再開内容は5月以前の通航の水準には遠く、正常な状態には至っていない状況です。

臨時便の通航については、8月末をもって取りやめていますが、現時点で利用できる岸壁の適地が見つかっていないなど、安定的な物資運送には、今しばらく多方面の検討、調整が必要と考えています。引き続き、運輸会社や関係者の皆さまとの調整を行い、抜本的解決に傾注していきます。

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界文化遺産国内推薦候補の選定

2月に推薦を取り下げた後、推薦書の見直しを行い、改めて本年度の世界文化遺産の国内推薦候補の立候補手続きに必要な推薦書案を国に提出していました。7月25日に開催さ

れた国の文化審議会で国内推薦候補に選定され、9月1日には関係自治体の首長会議において、推薦書内容を反映した名称「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」に変更することが決まりました。

今後は新名称の下、ユネスコへの推薦資産として国の了解が得られるよう、平成30年の世界文化遺産の登録実現を目指して引き続き長崎県や関係自治体と連携し、地元黒島の方々をはじめ関係者の皆さまと一体となって全力で取り組んでいきます。

佐世保勢の活躍

リオデジャネイロ2016オリンピック競技大会のアーチェリー女子団体、個人戦に永峰沙織選手が出場されました。結果は団体戦が準々決勝敗退、個人戦が1回戦敗退となりましたが、今大会での経験が永峰選手の更なる飛躍につながることを期待したいと思います。

7月21日から8月1日までアメリカ合衆国シガン州で開催された「第11回世界男子ジュニアソフトボール選手権大会」で佐世保西高3年の小山玲央選手、

調和政選手、真崎海斗選手が日本代表として出場され、見事優勝されました。本大会での日本チームの優勝は、第1回大会以来35年ぶりの快挙です。

7月31日から8月20日に神奈川県などで開催された「全国高等学校校定時制通信制体育大会」の女子バレーボール競技において、佐世保中央高定時制昼間部チームが2年連続2回目の優勝をされました。また、同大会のバドミントン競技男子団体で佐世保中央高通信制チームが、また、同競技の男子シングルスにおいて、同校通信制3年生の住徳聖也選手が3年連続3回目の優勝を果たしました。

また、8月12日から14日まで大阪府で開催された「第16回全日本中学生男子ソフトボール大会」において、長崎KSCが4年ぶり5度目の優勝を果たしました。これらの活躍は、選手自身と選手を支える関係者の皆さまの絶え間ない努力がもたらした成果であり、市民の大きな誇りであるとともに、全国に「せせほ」を大きくアピールしたものと思っています。



1 2 8月7日～8日(日本時間)に江迎地区公民館で行われたリオ五輪アーチェリー団体競技のパブリックビューイングの様子。永峰選手の家族や関係者、地元である江迎地域の皆さんなどが集まり声援を送りました 3 「第16回全日本中学生男子ソフトボール大会」において優勝を果たし、市役所に報告に訪れた長崎KSCの選手の皆さん